

土木学会誌第 45 巻および論文集（昭和 35 年度）総目次

土 木 学 会 誌

土
45
100.35

【口絵写真】

1 月号

最近の八郎瀧干拓工事状況
大倉ダブルアーチダム建設工事

2 月号

故 名誉員 工博 真田秀吉先生を想う
故 名誉員 大河戸宗治博士を想う

3 月号

綾北ダム湛水開始
北陸トンネル一部貫通
完成迫る日比谷有料駐車場
建設進む都営地下鉄工事

4 月号

故 名誉員 工学博士 那波光雄先生の追憶
バルウチャン第二発電所半ば完成（ビルマ）
三笠橋（立体交差）竣工
中之条発電所調整池ダム（群馬県）

5 月号

東海道新幹線新丹那トンネル函南方坑外設備
建設省土木研究所 千葉支所（道路試験所）の路床路盤
試験用テストピットほぼ完成
御母衣ロックフィルダム施工状況
田子倉ダム完成

6 月号

故 名誉員 黒河内四郎博士を想う
チリ地震津波被災状況

7 月号

昭和 35 年度土木学会役員
土木学会名誉員推挙者報告
京葉工業地帯埋立工事進む
潜水探測機“くろしお”改装
根岸線（国鉄）橋梁工事進捗

8 月号

有峰ダム工事進む
米神橋上部構造架設工事

9 月号

故 名誉員 前会長 吉田徳次郎博士の業績

10 月号

黒部川第四ダム湛水開始
建設進む名神高速道路（山科地区および藻川橋の全景）

11 月号

復旧工事進む鍋田干拓地区堤防
最盛期の瀬田川新洗堰建設工事

12 月号

八幡製鉄戸畑製造所の第一期計画ほぼ終了
着々と工事進む若戸大橋

号ページ

年頭所感	田 中 茂 美	1— 1
御挨拶—Civil Engineers Center への憧れ—	末 森 猛 雄	1— 2

【総会関係記事】

会長講演 交通問題と土木事業	田 中 茂 美	7— 1
新会長挨拶 会長就任に当って	沼 田 政 矩	7— 7
土木賞授賞報告		7— 7
昭和 34 年度土木賞委員会経過について	沼 田 政 矩	7— 7
部門総合講演		
日本の高速道路	斉 藤 義 治	7—11
最近の道路橋	村 上 永 一	7—14
衛生工学の諸問題	左 合 正 雄	7—17
土質工学の二、三の話題	最 上 武 雄	7—20
最近の水理学	田 中 清	7—22
日本における P C 使用の現状	猪 股 俊 司	7—25
第 15 回年次学術講演会一般報告	編 集 部	7—29
第 5 回水理研究会講演会報告	水 理 研 究 会	7—39

【論 説】

技術士制度について	藤 井 松 太 郎	2—23
土木教育と土木技術	堀 武 男	3— 1
近年における国鉄用地の取得問題	藤 田 峻 五	4— 1
道路用地取得上の諸問題とその対策	松 本 剛 郎	9— 1

宅地対策の方向について……………	志村清	12—3
わが国における道路標識の諸問題……………	尾之内由紀夫	12—7
【報 告】		
連続合成桁橋の収縮とクリープについて……………	橋善雄	1—5
最近における八郎潟干拓事業……………	小川泰恵	1—13
大倉ダムの計画について……………	富所強哉	1—19
東北地方の開発促進計画について……………	長沢道行	2—1
紀勢線建設工事の主要点……………	高橋克男 溝口山博 横章	2—7
土木計画と観光……………	鈴木忠義	2—15
海門橋架設工事について……………	高橋信策	3—7
道路用ガードレールの衝突実験……………	高橋憲雄	3—21
下久野トンネルにおける地圧測定……………	高橋彦治 飯塚全	3—29
吉野川における分割流域の単位図について……………	河石角鶴夫 石中西文夫 秩	4—7
近鉄名古屋線の軌間変更工事について……………	中小谷茂雅一 林一夫	4—15
辰巳橋の設計と製作について……………	近小藤和夫 松永夫朗	4—23
大仁橋こう上移設工事について……………	中椎嶋野井 松井美昌一 義佐宏	4—33
最近におけるペンストックの破壊問題について……………	神谷貞吉	5—1
半断面掘削工法と峯トンネルの実績について……………	粕谷逸男	5—9
伊勢湾台風時の愛知県および三重県の北部海岸における最大波浪の推定……………	永久井保 村莊七郎 弘一	5—15
道路ランガー桁（子飼橋と銀座橋）の載荷試験……………	吉清村田瀬 村田久蔵 瀬吉昭	5—27
大阪環状線の計画および工事状況について……………	藤田峻五	6—1
神戸市における下水道計画と将来の問題……………	稲淵茂樹 海之助	6—11
伊勢湾台風の和歌山県下の諸港湾における最大波浪の推定……………	永有井留 莊七郎 靖	6—19
大阪平野の堆積粘土の土質化学的性質……………	三瀬貞	6—25
陰極線オシロスコープによる定常地震動（変位・速度・加速度）の観測装置……………	丹羽新	6—29
大阪市高速鉄道第4号線建設計画について……………	田中野幸 磯三博 三竹久喬 恒	7—43
大阪市における下水処理事業について……………	西村豊	7—51
日比谷公園地下自動車駐車場建設工事の概要について……………	津田敬一	7—59
東京都市計画都市高速道路の計画諸要素について……………	山田正男 鈴木信太郎	8—1
チリ地震津波とこれによる三陸地方災害の概況……………	岩堀敏清 崎川夫司	8—9
高潮に対する臨海工業地帯埋立地面高の決定に関する Operations Research……………	鈴木雅次 川北米良	8—17
伊東～下田間電気鉄道の建設計画について……………	沢勝蔵	8—25
第2回世界地震工学会議を終って……………	岡本舜三	9—7
交通事故よりみた高速道路の立体交差の種類に関する考察……………	定井喜明	9—11
構造用高強度鋼材を用いたリベット継手の疲れ強さについて……………	小西一郎	9—19
城ヶ島大橋の架設について……………	石原保篤	9—23
綾北ダム施工に関する二、三の問題……………	田元島永正 元正彦 俊紀	10—1
骨材粒度の一図式表示方法……………	水笠野原 正	10—13

“Wild N3” レベルの測定誤差について……………	佐藤一彦……………	10—19
普通路盤の鉄道線路におけるレールのクリープについて……………	小野瀬良明……………	11— 3
勝瀬橋を対象とした斜張桁橋の模型実験並びに載荷実験について……………	伊藤静学……………	11— 9
斜杭・組杭をふくむ鋼製基礎杭に関する現地試験……………	後藤尚男……………	11—15
試験堤防の破壊実験について……………	畑中次雄……………	12—13
若戸橋工事に際して行なった調査……………	日本道路公団若戸橋工事事務所……………	12—19

【解 説】

フランスにおける水理学研究の動向……………	林泰造……………	1—23
治山治水緊急措置法について……………	井上義光……………	6—35
グラウトのコンシステンシー測定方法……………	樋口芳朗……………	6—39
浄水場におけるオートメーション……………	藤波哲二……………	8—31
放射性廃液処理について……………	上野忠男……………	9—35
建設機械損料の算定法の解説……………	中岡二郎……………	11—21
工事管理の新しい考え方について……………	佐用泰司……………	11—27
建設業の現況と当面する諸問題……………	小西是夫……………	12—27

【寄 書】

新発足した鉄道技術研究所……………	篠原武司……………	1—29
フランスの水理研究所の印象……………	安芸周一……………	1—37
テンター ゲートの語源……………	井口昌平……………	2—25
近藤正雄君の逝去を悼む……………	高橋三郎……………	2—27
新潟における地盤沈下について……………	佐藤寛三……………	3—37
メッシナ市の地震工学研究会議の報告……………	久保慶三郎……………	5—33
茨田堤考……………	田中清……………	7—79
洪水伝説雑考……………	田中清……………	10—23
土木技術者の海外進出の問題点……………	坂野重信……………	10—27
吉田徳次郎先生の追憶……………	平山復雄……………	10—31
吉田徳次郎先生の追憶……………	安藤豊……………	11—34
東海道路の今昔—東海道視察団（西班）に参加して—……………	近藤泰夫……………	12—32

【資 料】

第2回技術士試験をかえりみて……………	仙石善四郎……………	1—43
Malpasset ダムの欠陥について……………	編集部……………	1—49
土木工学的に見た放射線障害防止施設について……………	上野忠男……………	2—29
コンクリート舗装版に対する重トラレーザ荷重の載荷試験資料……………	松本正雄……………	2—35
伊勢湾台風とミオ止工法……………	粟田亀造……………	4—39
八久和ダムに使用したセメントの品質の変動について……………	矢崎道美……………	5—37
加治橋の設計について……………	目黒顕清……………	6—43
Box-Wilson法による円弧すべりの計算法—デジタル・コンピューターによる計算—……………	長尾義三……………	7—69

【講 座】

電子計算機とその応用(1)—電子計算機の概要—……………	元岡達……………	10—37
電子計算機とその応用(2)—電子計算機のプログラミング入門—……………	清水留三郎……………	11—35
電子計算機とその応用(3)—国産電子計算機による土木計算の応用例について—……………	山本欣子……………	11—40
電子計算機とその応用(4)—建設工事における応用例……………	西村真三郎……………	12—36

【豆 知 識】

パルプ廃液による砂利道の防塵処理 1— 4
 偏差と残差・精度・I.E..... 2—14
 索道 3—20
 I.C.O.S. 工法..... 3—35
 アスファルト舗装 3—60
 原子炉と原子力発電 4—56
 遠心力コンクリート製品 4—57
 水文記録について 5— 8
 カチオン乳剤について 5—41
 下水の海中放流 6—34
 公共施設の整備に関する市街地の
 改造に関する法律(案) 7—58

イギリス、アメリカの土木技術者の初任給 7—68
 コンクリート集水管 7—77
 途方もないコンクリート管 8—23
 有料道路の収入実績と交通量 8—30
 関門(国道)トンネルの営業状況 8—51
 最近の自動車保有台数と推移 9— 5
 ガソリン税の収入状況 9—22
 東京のパーキング・メーター 9—40
 最近の東京国際空港 10—18
 レーダー・スピード・メーター 11— 7
 クロソイド曲線 12—31

【文献抄録】

文献抄録および文献目録欄について 1—51
 接着材による鋼橋部材の接合 1—52
 掘削底面の弾性上昇について 1—54
 構造物の静的応答を求める電気アナログ 1—54
 ガンマー線によるPC桁グラウチングの検査 1—55
 コンノール港におけるセイシュの研究 1—55
 成層密度流のせきからの流出 1—56
 市街地にあるアスファルトプラントの塵埃
 制御の検査 1—56
 舗装道路の振動試験 1—57
 都心部における街路交差点立体化の実例 2—45
 桁を構成するコンクリートと鉄筋(またはPC材)
 におけるひずみの関係 2—46
 ダムコンクリートの強度 2—46
 カリバダム 2—47
 等方性乱流の渦拡散係数 2—48
 ポンプによる水撃圧の図式解法 2—49
 密度流の境界面の摩擦抵抗 2—50
 交通事故と走行速度との関係 2—51
 ダカールニジェ鉄道のロングレール敷設条件 2—52
 アメリカにおける最長プレートガーダー 3—49
 プレストレスを導入した滑走路 3—49
 プレバックドコンクリートと活性化されたグラウト 3—49
 プレストレストコンクリート部材と場所打
 コンクリートによる合成構造 3—50
 ゲート溝の水理学的特性 3—50
 取水口通気管寸法の略算式 3—51
 モーニング・グローリー型余水吐の模型実験 3—51
 二層流体からの単層取水 3—52
 アースダムの間げき圧 3—53
 街路交差点の交通容量 3—53
 防護柵の実物衝撃試験 3—54
 ノールウェー鉄道における凍上対策 4—47
 構造物の耐震設計 4—47
 せいの高いはりの応力 4—49
 フリップバケット式のトンネル余水吐き 4—50
 コンクリート粗面におけるキャピテーション
 発生の条件 4—50
 捨石防波堤の実験的研究 4—51
 英国ラムゼー港の北防波堤改築 4—52

コンクリート舗装のそり応力とたわみ 4—52
 所要到達時間の測定 4—53
 転てつ器基本レールと先端レールとの高周波
 表面焼入 4—54
 エア・カーテン付塗料吹付けガン 4—54
 凹凸測定による舗装の評価 5—45
 空気袋によるドームの建設 5—45
 A-型の塔1本で支えられたライン河の吊橋 5—45
 感潮水流の計算に対する階差法の応用 5—46
 コンクリートの乾燥収縮とクリープ 5—47
 塩水クサビの実験 5—48
 左右折交通処理の一方法 5—49
 高速道路のオフ・ランプにおける走行特性の比較 5—49
 スウェーデン国鉄のロングレール敷設法 5—50
 開放式地下鉄掘削法 5—51
 コンクリートまくら木に使用するレール締結装置 5—51
 壁の中に鋼棒を打込むことによるトンネルの補強 5—51
 マドリッドの带状郊外地 5—51
 パイプによって立坑内を落下するコンクリートの運動 5—52
 橋脚部の河床洗掘 6—49
 柱を弾性固定されているラーメンの計算 6—50
 I形桁橋におけるダイヤフラムの荷重分配作用 6—51
 コンクリートにおける締固めの効果 6—51
 海岸堤防および防波堤の設計 6—52
 電磁管式微小流速計 6—53
 格子状エネルギー減勢装置 6—54
 イギリス西中部地方の緑地帯 6—55
 垂直方向に間げきを有する整流壁 6—55
 コンクリート製品の高速蒸気養生法 6—56
 大型橋梁の工業的架設 6—56
 オカ川橋梁工事現場における中空杭の実験 6—56
 電気探査によるレンズ状凍結層の発見 6—56
 コンクリートの風化 7—89
 補剛桁コンクリートにプレストレス
 を導入した吊橋 7—89
 粗骨材最大寸法とコンクリート強度の関係 7—90
 剛体化する物質中の波動と衝撃の伝播 7—91
 スーパータンカーのためのけい船ドルフィン 7—92
 二層流体の運動 7—93
 交通量予測における数学的モデルの利用 7—94

サンディエゴ市の交通誘因研究	7-94
交通流における密度の影響について	7-95
活性汚泥法の改良法	7-95
スウェーデンの鋼管アーチ橋	8-39
空港敷地選定のための空中写真判読	8-39
永久凍結地における杭打ち工事	8-40
剛な薄い遮蔽板背後への波の伝達	8-41
二浸透層から成る堤体内の地下水流	8-41
キャピテーションの気泡圧潰圧力	8-42
エア グッションをもつた密閉型サージ タンク	8-43
理論交通容量とタイミングの研究	8-44
路盤ないし基層の材料としての高炉スラグ	8-45
日常保線作業の改善	8-45
大都市の都市計画上の問題点	9-41
橋梁における高張力鋼使用の経済性	9-42
ダム コンクリートのひびわれ	9-42
極局部的に摩耗した車輪のレールにおよぼす影響について	9-43
高いバットレス ダムへの軸方向地震の影響	9-45
等分布荷重を受ける隣接 2 辺支持版	9-46
粘性流体相似模型による地下水流の研究	9-46
水路用流速計の比較	9-47
放射性トレーサの水文気象学への応用	9-48
コロラド河下流における流送土砂の問題	9-48
トルクミットの背水および低下曲線長	9-48
沖積地質上の一様流量水路	9-48
架線電柱基礎掘りの機械化	9-48
開放溝に束線を入れたプレストレスト スパン構造物の試作	9-48
移動式パラスト選別機の使用経験	9-48
エキスカベーター用の新型シャベルの試験	9-48
鉄筋コンクリート製板杭の形状の研究	9-48
死海における密度流	10-45
プレキャスト コンクリート部材の接合	10-45

【ニュース】

中央自動車道（東京～小牧間）調査報告	1-58
名神高速道路の建設状況	1-60
遠笠山道路の一部竣工	1-60
建設省購入のパネル橋	1-61
大所川第 2 発電所（東北電力）運転開始	1-62
メコン河総合開発第 2 次調査団出発	1-62
湯沢および鶴来ロープ ウエイの開通	1-62
昭和 34 年度水力発電地点新規追加について	1-62
仙台火力発電所（東北電力）1 号機運転開始	1-63
田子倉発電所（電発）20 万 kW 発電開始	1-63
人來田発電所（東北電力）竣工	1-64
丸ノ内駐車場完成	2-54
土研・千葉道路試験場の建設進む	2-55
都営地下鉄進捗状況	2-56
瀬田川新洗ぎき建設工事	2-57
東北電力上田発電所増設工事竣工	2-57
朝日川第 2 発電所（山形県営）竣工	2-57
名田橋架設工事開始す	2-58

鋼製水圧鉄管の経済寸法を図解的に求めること	10-47
粘弾性板の曲げ	10-47
コンクリートの強度と超音波速度との関係	10-48
コンクリート中の鉄筋の腐食	10-49
浮遊粒子の沈降速度	10-49
防波堤に作用する波圧の理論式	10-50
浅水波浪のスペクトル	10-51
アス・コンの疲労特性の解析	10-52
レール継目板のグラファイト塗布の経験	10-52
鋼弦コンクリートまくら木の振動製作法	10-52
海岸地域火力発電所用の冷却水	11-47
曲線術の解析	11-48
アース ダムの地震時の安定性	11-49
粒状質地盤内の応力伝播	11-50
エポキシ アスファルト コンクリートによる 空港の舗装	11-51
エポキシ樹脂によるコンクリートの修繕	11-52
ローズラン（パチー）発電所の水圧鉄管	11-52
沈砂池の効果に関する実験	11-53
凍土破碎用ボーリング機械	11-53
操車場における列車の到着・出発線の数の計算法	11-53
トンネルの掘削における岩石処理の機械化	11-53
鋼橋トラスの疲労破壊	11-53
コンクリートまくら木を使用する軌道の通り直し	11-53
太陽から輻射エネルギーを利用した水力発電	12-41
世界最高のアーチ ダム完成	12-41
ドイツの最長プレストレスト コンクリート橋完成	12-42
アース ダム建設用新機械	12-42
送電鉄塔の設計について	12-43
コールブルク ホワイト公式よりの管路損失問題に関する直接的解法	12-44
波浪による底質の始動限界に関する研究	12-44
ホット フィルム流速計	12-46
標準散水ろ床の最終沈殿池について	12-46
雁島橋完成	2-58
学術会議だより	2-59
建設省人事異動	2-59
東京都新葛西橋着工	3-56
白根ロープ ウエイの開通	3-56
完成迫る綾北ダム	3-56
建設進む第 2 阪神国道	3-57
北陸トンネルの一部貫通	3-58
国鉄赤穂線吉井川橋梁工事進む	3-59
長崎観光開発ロープウェイの速度向上について	4-57
バルウチャン水力発電所竣工	4-58
東京都八重洲第一路外駐車場完成	4-58
治山治水緊急措置法ならびに治水特別会計法成立	4-58
岩国市の立体交差『三笠橋』完成	4-59
中伊豆の三橋完成	4-59
日本道路公団銚子大橋着工	4-60
砂町下水処理場の散気式曝気槽について	4-60
群馬県営中之条発電所竣工	4-61

熊本県営市房第1, 第2発電所竣工	4-62	国際地震工学研修所の現況	8-48
東北電力田沢発電所竣工	4-62	水防演習行なわる	8-49
第4次発電水力調査の結果公表さる	4-63	愛知県日光川河口縮切ゲート	8-49
京葉道路開通	5-54	宮崎県営綾第一発電所全部竣工	8-49
土木研究所道路研究部門の千葉移転	5-54	昭和35年度建設技術研究補助金一覧	8-50
速笠山有料道路竣工	5-55	住友共同電力, 五王堂発電所竣工	8-51
首都高速道路工事状況	5-55	文部省理工科系学生の増募案を発表	9-50
奥只見ダム第1次湛水開始	5-56	国鉄5カ年計画を発表	9-50
屋久島の電源開発工事進む	5-56	四国循環線建設, さらに一步前進	9-50
国鉄新幹線総局発足	5-57	箱根ロープウェイ全線開通	9-50
新丹那トンネル掘削工事進む	5-57	吉根橋(愛知県)完成	9-51
能登線(鶴川・守出津間)開業	5-58	島原有料道路開通	9-51
新宿 聚楽ビル 移転工事	5-58	芽登第1発電所隼南水路完成	9-51
京王帝都 渋谷駅 改良工事終る	5-58	砂町下水処理場の高級処理開始	9-52
世界地震工学会議の出席外人について	5-59	黒部川第四発電所ダム堰水開始	10-54
脇谷橋架設工事	5-59	完成間近い諸塚ダム	10-54
名神高速道路桂川橋架設完了	5-59	十津川第1(芦瀬瀬)発電所竣工	10-54
室蘭工科大学長に大坪博士当選	5-59	施回式走行塔型クレーン完成	10-55
音戸橋工事について	6-58	東伊予道路開通	10-55
東京都暁橋竣工	6-58	Sand mastic の水中 grout の実験始まる	10-56
淀川で試験堤防破壊実験行わる	6-59	青函トンネル, 四国連絡鉄道建設の海峡調査研究 計画決まる	10-56
国鉄小丸川橋梁, 桁架替え工事に着手	6-59	岩日線(岩国一河山間)が完成	10-57
日比谷自動車駐車場完成	6-60	若戸橋工事状況	11-54
ガス橋完成	6-60	国鉄中央線増を再開へー東京・市ヶ谷間に短絡線	11-54
青森県営岩木川第1発電所竣工	6-61	国鉄神岡線第4中山トンネル ベンチカットで進行中	11-54
埼玉県営大洞発電所竣工	6-61	日本住宅公団生田地区(百合ヶ丘団地) における下水処理場について	11-55
広野発電所(四国電力)竣工	6-61	国際技術顧問団のマリキナダム審査	12-48
昭和35年度の電源開発計画決まる	6-62	御母衣ダム(電源開発)湛水開始	12-48
チリ地震津波の被害概況	6-64	川口発電所(中部電力)竣工	12-49
日本における輸送に関する考察	7-98	奥只見発電所, 営業運転に入る	12-49
東村山浄水場建設状況	7-99	第14回建設省直轄技術研究会開催	12-50
潜水探測機“くろしお”の改装	7-100	安芸氏エカフェ治水水利開発局長に就任	12-50
盤の沢橋架設工事	7-101	第4回水利開発地域会議開催	12-50
昭和35年度建設工事額の推計について	7-101	エカフェ第5回道路・道路運送小委員会	12-50
伊勢神トンネル完成	7-102	永田橋完成	12-50
小鳴戸橋の建設進む	7-102	都営地下鉄第1号線 浅草橋一押上間開通	12-51
最近の地下鉄工事状況	7-103	浪害地区の線路移設完成	12-51
電源開発長山発電所竣工	7-105	国鉄 神岡線建設の現況	12-52
米神橋(曲線桁橋)架設工事	8-48		
高野山道路完成	8-48		

土木学会論文集

号ページ

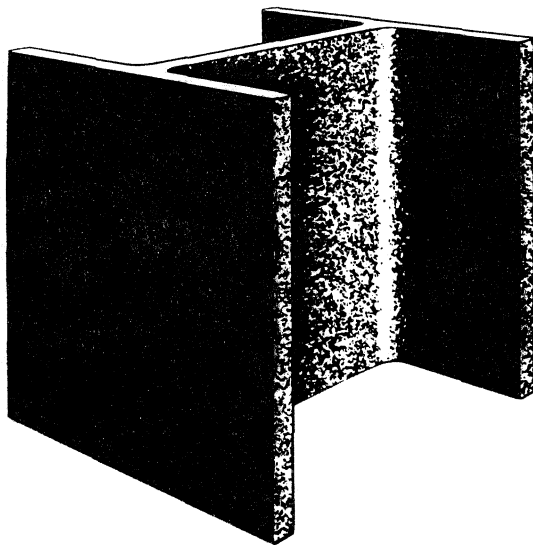
直交異方性平行四辺形板のタワミ・曲げモーメントの影響係数の計算および斜格子桁模型実験への応用	成岡昌夫・浅沼堯・福井経一	66-1
桁橋の上部構造の崩壊と釣合った下部構造の設計について	内田一郎	66-8
行列によるトラス構造の解法	大地羊三	66-14
熱応力の光弾性実験法に関する研究	森忠次	66-21
二, 三の補剛アーチ橋の解法	平井敦・倉西茂	66-28
河川流出量分析による浸透能の検出について	酒井一郎	66-36
Water Hammer in a Branched Pipe	嶋祐之・日野幹雄	66-41
Secondary Wave Crest Formation	堀川清司	66-50

駐車現象の統計解析	毛利正光	66-59
橋梁基礎工の掘削, 沈下作業の理論的考察	飯吉精一	66・別冊 (1-1)
不完全合成桁の曲げ理論	山本稔	67-1
格子桁構造の極限荷重および最小重量設計に関する一研究	米沢博	67-11
地震荷重を対象としたコンクリートの動的圧縮変形ならびに破壊	畑野正堤	67-19
跳水と潜り流出に関する二, 三研究	河村三郎	67-27
複雑な開水路網の一解法	荒木正夫	67-35
土の電気浸透中の間引き水圧の分布について	三瀬貞	67-42
減圧井戸の効率に関する実験的研究	箭内寛治	67-49
疲労破壊の確率と橋の疲労設計について	西村昭南 武雄	68-1
静的荷重を受ける2ヒンジ鋼アーチ橋の耐荷力について	倉西茂	68-9
不完全合成箱型桁のねじり	山本稔	68-19
平板のクラック周辺の曲げ応力の集中について	能町純雄	68-27
二層地盤内の応力伝播に関する一考察	石原研而	68-32
粘弾性体としての地山中の素掘円形トンネルの変形挙動について	小田英一	68-41
コンクリート ミキサ内における固体粒子の運動について	柳場重正	68-50
各種フライアッシュの共通試験報告	国分正胤・河原友純・太 斉宗一	68・別冊 (1-1)
立体骨組構造物の解法	大地羊三	69-1
開水路における定常流の一般理論について	岩佐義朗	69-9
流入汚水の希釈特性に関する実験的研究	南部祥一	69-17
粘土の電気浸透による脱水工法の一考察	三瀬貞	69-22
粘土の圧密に関するレオロジー的考察	柴田徹	69-29
締固め杭に関する基本的研究	西田義親・保田 市兵衛	69-38
舗装道路路床のサクシヨンの実態調査とそれにもとづくサクシオンと道路環境との関係	森麟	69-45
砂および礫の水中落下の散らばりに関する研究—静水中における場合—	箭内寛治	69-51
基礎の変形がアーチダムの応力におよぼす影響について	林正夫	69・別冊 (3-1)
広巾員開水路の定常流—断面形の影響について—	井田至春	69・別冊 (3-2)
変断面連続箱桁橋の立体的応力解析	小松定夫	69・別冊 (3-3)
重力式岸壁の耐震性についての一考察	松尾春雄・大原 資生	70-1
流砂ある河川における平衡勾配について	増田重臣・河村 三郎	70-8
河川の静的平衡勾配について	増田重臣・河村 三郎	70-17
舗装路床土の一つの新しい含水状態推定法について	植下協	70-26
コンクリートの静的圧縮変形, 破壊に対する時間効果	畑野正	70-32
粘着土の分散処理と団結処理について	山内豊聡	70-40
開水路分水工の研究	室田明	70・別冊 (1-1)
放水路サージ チャンパー サージングの簡易計算法(英文)	林泰造	71-1
移動床をもつ流れの水路床状態の区分について	杉尾捨三郎	71-7
土圧計に関する実験的研究	大原資生	71-14
異方性弾性地山における素掘円形トンネルの変形について	川本眺万	71-20
砂の集団投下および波を受けるときの平面的な散らばりについて	箭内寛治	71-28
弁の周期的開閉による水撃圧について(英文)	嶋祐之・荻原能 男	71・別冊 (4-1)
遠心力鉄筋コンクリート クイに用いるコンクリートの遠心締固めに関する研究	綾亀一	71・別冊 (4-2)
フライアッシュに関する研究報告	土木学会フライアッシュ 委員会	71・別冊 (4-3)
舗装後の路床状態の変化についての研究とそれにもとづく CBR 試験法の改善に対する一提案	森麟	71・別冊 (4-4)

● 明日の日本を礎く……

H形鋼

- 構造用H形鋼
- 基礎杭用H形鋼



用途

- 基礎杭
- 仮設
- 地下鉄建築
- ビル
- 工場
- 発電所
- 学校
- その他
- 隧道
- 橋梁
- 鉄塔、鉄柱
- 港湾
- 棧橋
- 船舶
- 機械



 八幡製鐵株式會社

綜合技術の粋

石川島播磨 橋梁

本邦初の H.T.60 橋梁

首都高速道路公団殿御注文
高速道路1号線122工区高架橋
(都道一港区芝海岸通り1丁目)工場仮組立状況
外桁2本はH.T.60(2組鋼)及H.T.50
使用。中桁6本はH.T.50及S.S.41使
用して居ります。



型式	活荷重合成格字桁
橋巾	36.0m
長	600.0m
設計荷重	16.0t (T.L)
鋼重量	20T (T.L)
	約111吨

古くは震災後の隅田川を飾った当社の橋梁技術は近年に到り新鋭専門工場の増設、綜合技術研究所の新設整備、設計陣容の飛躍的拡充等により、愈々躍進の地歩を固めて居ります。



石川島播磨重工業株式会社

本社 東京都千代田区大手町2-6-4 (新大手町ビル) 電話 (211) 2171・3171
札幌・仙台・横浜・新潟・名古屋・大阪・神戸・広島・徳山・八幡・福岡

最良のコンクリートを保証する…

日曹マスタービルダーズ株式会社

設立御挨拶

セメント分散剤「ボゾリス」に関し毎々格別の御引立を賜わり有難く御礼申し上げます

今般 皆様の御支援により日曹マスタービルダーズ株式会社は、お蔭様にて無事設立いたしました。 当社は

従来日本曹達株式会社、日曹商事株式会社の「ボゾリス」関係業務を引き継ぐと共に、ボゾリスを始め輸入諸建材の国産化を図るべく12月1日より業務を開始いたしました

- 当社は (1) 輸入各種建材の国産化
(2) 各工事に適応した高度の製品
(3) テクニカルサービスの徹底

をモットーとして、日頃のご愛顧にお報い致したいと存じます

何卒弊社に対し倍日の御指導御支援を賜りますようお願い申し上げます



セメント分散剤 ボゾリス ネオ・ボゾリス モルタル 無収縮、注入剤 エムベコ コンクリート表面 耐 磨 耗 剤 マスタープレート	コンクリート表面 カラー耐磨耗剤 カラクロン コンクリート・モルタル 防水 撥水剤 ステアロリス コンクリートゼロスランプ ウオカビリチイ増進剤 ルブリリス 其他諸製品
---	--

日曹マスタービルダーズ株式会社

本社 東京都千代田大手町2の4 (新大手町ビル)

大阪出張所 大阪市東区北浜2の90 (日産生命館)
名古屋出張所 名古屋市中区新栄町1の6 (朝日生命館内)
福岡出張所 福岡市天神町8 (西日本ビル内)

仙台出張所 仙台市一番丁11 (東一ビル内)
札幌出張所 札幌市北三条西2丁目 (桑沢商店内)
二本木出張所 新潟県中頸城郡中郷村 (日曹二本木工場内)
高岡出張所 富山県高岡市向野本町 (日曹高岡工場内)

水に浮く コンクリート 三井パーライト



マンモスビルに使われて
4,000トンの軽量化に成功



三井金属鉱業株式会社

本店 東京 日本橋 電話 (241) 4101 (代)
支店 大阪 営業所 名古屋・福岡 出張所 札幌
総代理店 三井物産株式会社

支持力の大きい深層パイル スパイラル鋼管杭

現場接合が容易で、強い打撃に耐え、
深層に達する打込みが可能です。

こんな場所に威力を発揮

■火力発電設備・建築物・機械・炉などの安定
を必要とする基礎杭

■道路橋・鉄橋・高架鉄道の橋脚

■港湾河川の栈橋・ドルフィン

15メートルまで自由の長さ

300ミリから600ミリまで各種の口径肉厚



“国づくりから
米づくりまで...”

スパイラル鋼管



久保田鉄工株式会社

本社・大阪市浪速区船出町2丁目
東京・福岡・札幌・名古屋・仙台・室蘭



富士製鐵の 鋼矢板

富士鋼矢板は、独特の鍵型継手を採用しておりますので、継手の噛合わせが堅牢かつ滑らかで、継手部・脚部が特に肉厚になっていること、あいまって、強度がはるかに優れ、広く御好評をいただいております。

富士鋼矢板の特長

- 堅牢で、何度でも使える
- 組立・引抜きが容易
- 強度・耐蝕性が高い
- 大きな土圧に耐える
- 締切工事が一重で完全
- 少い枚数で脚柱が組立てられる
- ラルゼン型とも共用できる



富士製鐵株式會社

本社・東京・日本橋

学術振興会 研究会助成金 交付
科学技術庁 発明実施化補助金

最小のブリージング
最大の分散力...

セメント分散剤



Maginon

製造元 菅井化学工業株式会社
和歌山・東京・大阪

発売元 山宗化学株式会社

本社 東京都中央区八丁堀2の3 電(551)0729・3634・5292
大阪営業所 大阪市西区江戸堀下通り2の38 電(44)2803・7715
福岡出張所 福岡市大名町1の87 電(5)3152
札幌駐在所 札幌市北三条西四丁目第一生命ビル岩井産業(株)札幌支店内 電(2)2465・9341

カタログ進呈

セメントガン

グナイエーガンクリート

シヨットクリート工とも言う

此の工法は砂とセメントを高圧的に応用する最新工法である。従ってコンクリートの防水、修覆、補強等々に適応され主なる施工箇所は次の通りである。

貯水池、ダム、濾過装置、下水処理装置
タンク、スタヂウム、橋梁、海岸壁補修
建造物の防水及び補強、一般用水路等々

(型録贈呈)

朝日建設株式会社

旧水道企業株式会社

本社 大阪市北区中之島3ノ3朝日ビル八階
電話 北浜(23)6730
営業所 東京・銀座6ノ3朝日ビル二階
電話 (571)2940

木元

読んで字のごとく基礎杭には
木材が最適且価格も低廉です

杭と米松角材の店

⑤

丸五木材株式会社

尼崎市昭和北通3丁目45 Tel. (48) 6845~8
東京深川 (641) 3080・5530 名古屋 (32) 604
九州八幡 527

ベントナイト

ベントナイトグラウテイングに
堰堤隧道其他各種漏水止工事に

国峰砒化工業株式会社

東京都中央区新川 1~7 電話 (551) 4816~8・2885
工場 山形県西村山郡大江町左沢 電話大江 6 7

純國産
斯界推奨の
外国品に優る
AE 剤

特許 2 3 6 8 8 7 号

エアルイン

発売元
福昌化工株式会社
東京都中央区日本橋室町 3 の 3 TEL(241)1846

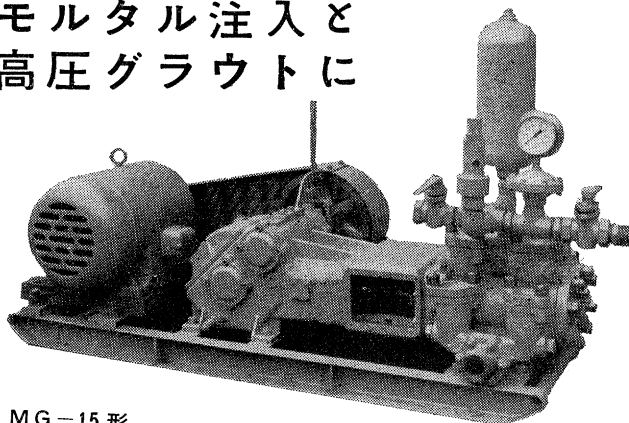
製造元
荒川林産化学工業株式会社
東京・大阪 工場 大阪今福工場



高性能 MG シリーズ

モルタルポンプ

モルタル注入と
高圧グラウトに



MG-15 形

- ミキサーは高濃度モルタルを数分で完全攪拌する国産初のハイスピードミキサーを完成しております
- モルタル配合比 水 1 : 砂 3 : セメント 1、砂の粒度 7mm 程度まで可能

形 式	吐 出 量	吐 出 量
MG-5h	65~25 l/min	25~60kg/cm ²
MG-10	105~40 "	30~70 "
MG-15	160~55 "	25~70 "

(カタログ御請求は本社営業部 CE 係へ)

鉱 研 試 錐 五 業

本社及工場 東京・目黒・平町136 Tel (717) 1141(代)~7
支 店 福岡 (3) 2697・大阪 (44) 3966・札幌 (4) 4961